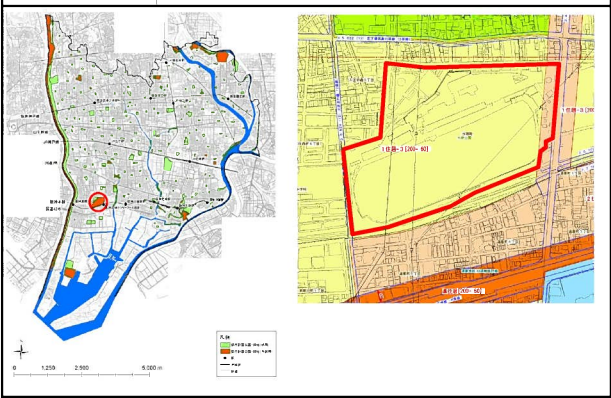


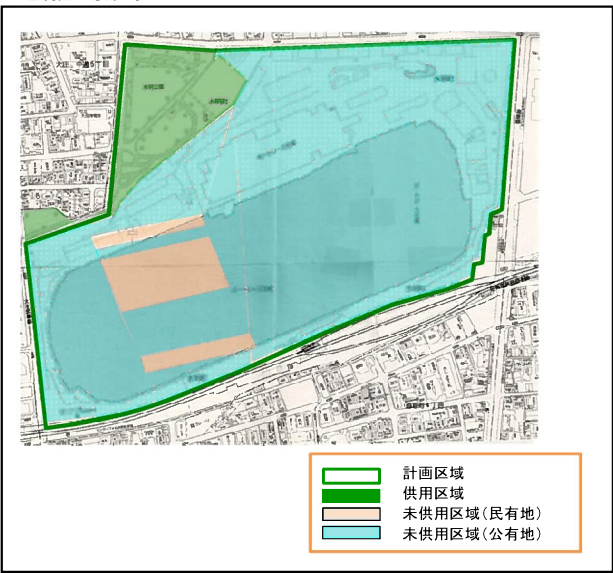
5. 5. 401号 水明公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	総合
	最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終 14.3ha
位置	尼崎市水明町			
用途地域	第1種住居 近隣商業	土地区画整理による取得の有無	無	
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(沿線の軸)、地域防災計画(大火災避難場所)】			



土地利用の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画における必要性	○	上位計画に位置付けがある
	都市公園としての必要性	○	計画決定当時と変わらず必要性があり、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できている
代替性	上位計画の機能の代替	×	
	都市公園機能の代替	-	
実現性		○	未供用区域は市有地(競艇場)と民有地(関電用地)であり、整備が見込める
地域固有の要素を含めた総合的な検証		○	南西地域の総合公園として必要である。今後も存続予定の競艇場の施設整備計画にあわせてメインスタンド部は公園計画区域から除外を要望がある。今後、競艇場の施設整備計画と調整しながら、計画区域の縮小を前提に、都市計画の変更を行っていく。
	検証結果	存続	
特記事項	競艇場内民有地部分は、市有地との土地交換について協議中である。		
計画面積	見直し前	14.3ha	
	見直し後	14.3ha	
	廃止面積	0.0ha	

供用状況

供用年月日	昭和51年11月22日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.9ha	標準面積との比較	-
未供用面積	12.4ha	供用率	13.3%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	-	11.5ha	0.9ha

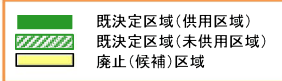
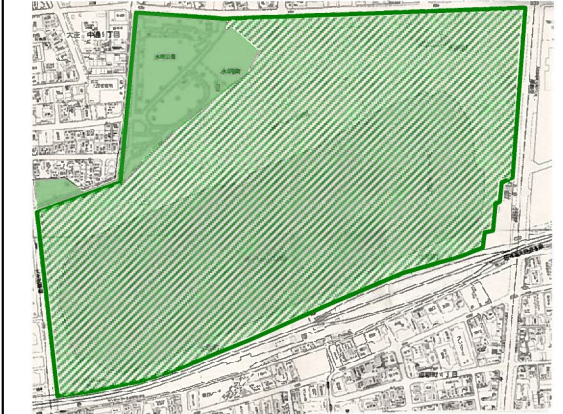
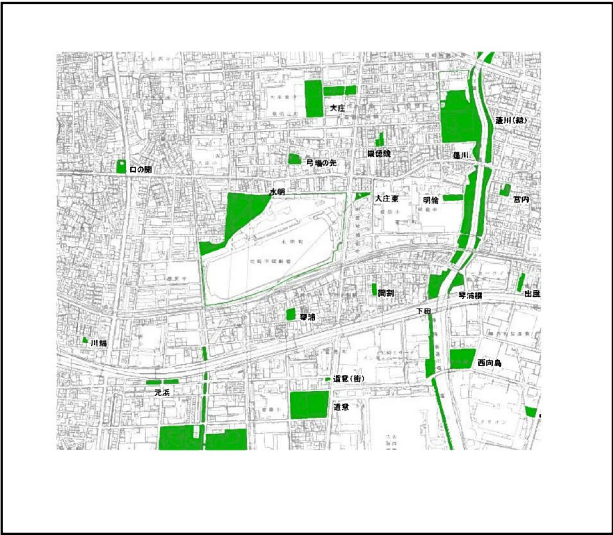
概算事業費

概算事業費	合計	2,852,000千円
	内訳	工事費2,852,000千円
民有地の土地利用	競艇場の一部	

周辺状況

都市公園の充足状況	-	-
上位計画で求められている機能の代替性	無	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	都市基幹公園のための代替性の検証なし	

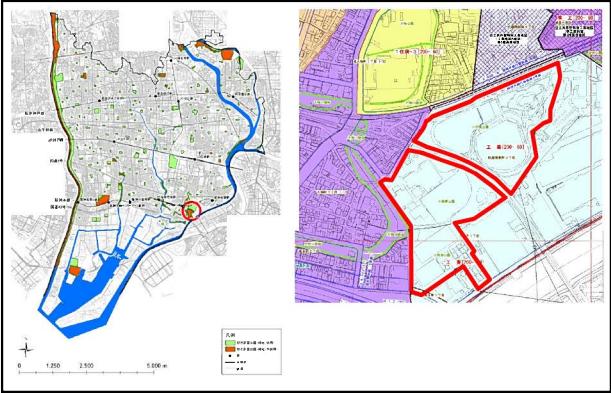
公園周辺の状況等



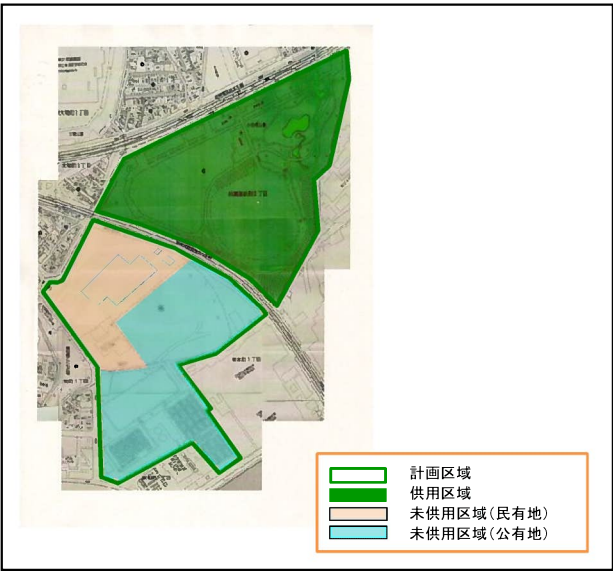
5. 5. 403号 小田南公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和54年12月21日	公園種別	総合
	最終	昭和58年1月25日	計画面積	最終 12.1ha
位置	尼崎市杭瀬南新町3丁目			
用途地域	工業	土地区画整理による取得の有無	無	
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(防災の拠点、文化・レクの拠点、沿線の軸)、地域防災計画(大災害避難場所)】			



土地利用の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画における必要性 都市公園としての必要性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	上位計画の機能の代替	×	
	都市公園機能の代替	-	
実現性		△	未供用区域は民有地及び市有地(公園用地)であり、公園用地は整備が見込める
地域固有の要素を含めた総合的な検証		○	上位計画で防災公園としての機能強化が求められており、防災拠点としての必要な機能を未供用区域で整備していく必要がある。市有地を存続し、民有地を廃止とする。
	検証結果	面積縮小(未供用の一部)	
特記事項			

供用状況

供用年月日	昭和58年10月8日	供用状況	一部未供用
供用面積	5.6ha	標準面積との比較	-
未供用面積	6.5ha	供用率	46.3%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	1.80ha	3.00ha	1.70ha

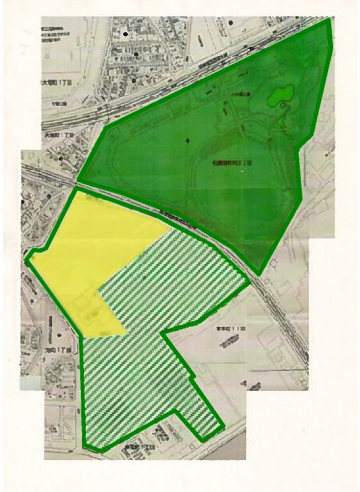
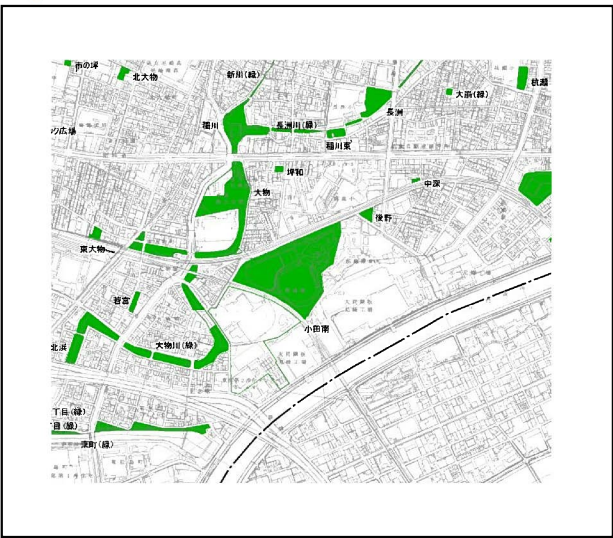
概算事業費

概算事業費	合計	5,183,170千円
	内訳	用地買収費2,516,000千円、移転補償費1,172,170千円、工事費1,495,000千円
民有地の土地利用	工業専用施設、保管施設(3軒)	

周辺状況

都市公園の充足状況	-	-
上位計画で求められている機能の代替性	無	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	都市基幹公園のため代替性の検証なし	

公園周辺の状況等



既定区域(供用区域)  
既定区域(未供用区域)  
廃止(候補)区域

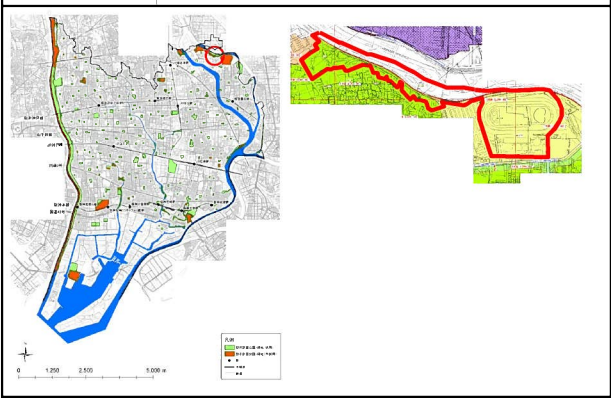
計画面積	見直し前	12.1ha
	見直し後	10.4ha
	廃止面積	1.7ha



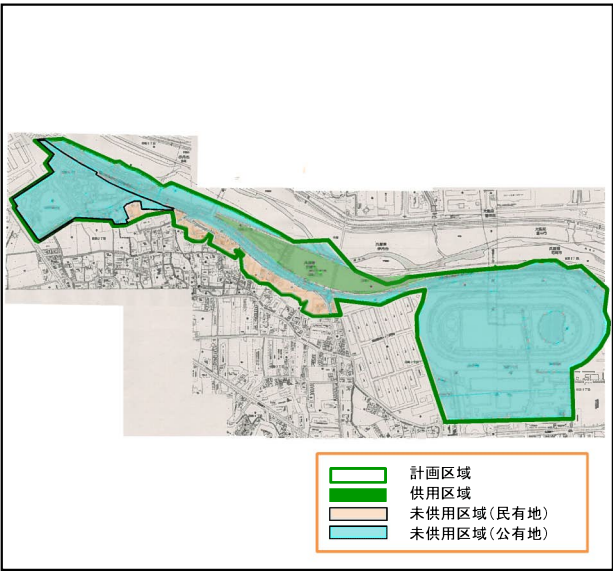
6. 5. 402号 藻川公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	運動
	最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終 27.2ha
位置	尼崎市田能2丁目他			
用途地域	第1種中高層住居専用 第1種住居	土地区画整理による取得の有無	無	
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画（緑地保全の拠点）、地域防災計画（大震災避難場所（農業公園、園田競馬場））】			



土地利用の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画における必要性 都市公園としての必要性	○ 上位計画に位置付けがある × 計画決定当時と比べ必要性がなくなった
代替性	上位計画の機能の代替 都市公園機能の代替	○ 周辺に上位計画で求められている機能の代替がある -
実現性		-
地域固有の要素を含めた総合的な検証		- 運動公園としては記念公園のみで充足している。未供用区域は農業公園及び猪名川河川敷公園として供用しており、都市計画決定時の公園施設のうち、テニスコート、自由広場、散策路、花木園、芝生広場を設置している。計画廃止後も農業公園及び猪名川河川敷公園として引き続き管理する。
検証結果	廃止	
特記事項	農業公園のあり方について別途検討が必要。	
計画面積	見直し前	27.20ha
	見直し後	0.00ha
	廃止面積	27.20ha

供用状況

供用年月日	-	供用状況	全域未供用
供用面積	0.0ha	標準面積との比較	-
未供用面積	27.2ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	-	25.5ha	1.70ha

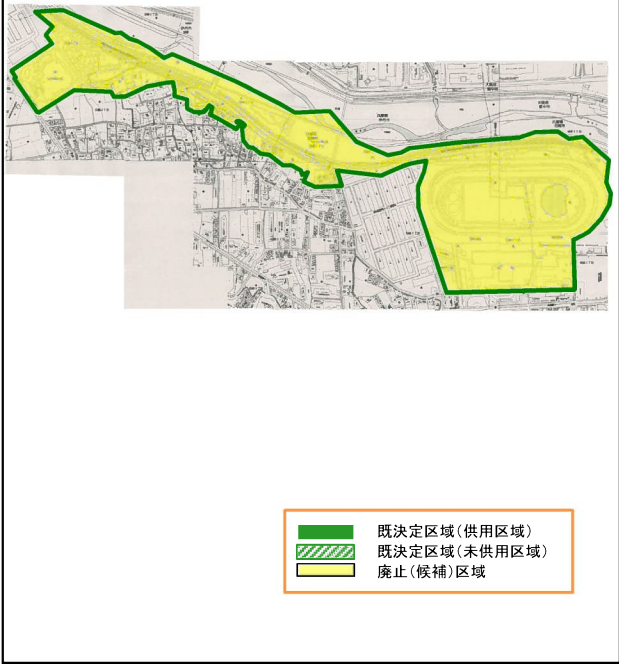
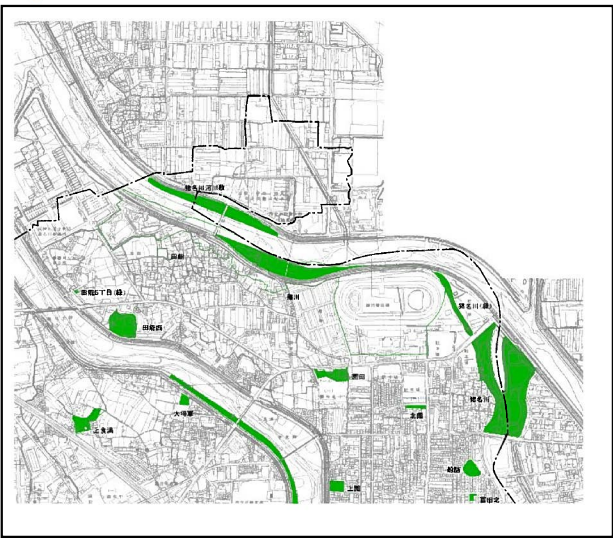
概算事業費

概算事業費	合計	29,271,697千円
	内訳	用地買収費22,010,000千円、移転補償費1,005,697千円、工事費6,256,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(36軒)、集合住宅(11軒)、商業・業務兼用住宅(2軒)	

周辺状況

都市公園の充足状況	-	-
上位計画で求められている機能の代替性	有(農業公園、猪名川河川敷公園、生産緑地、園田競馬場)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
	-	防災
周辺の代替施設	都市基幹公園のための代替性の検証なし	

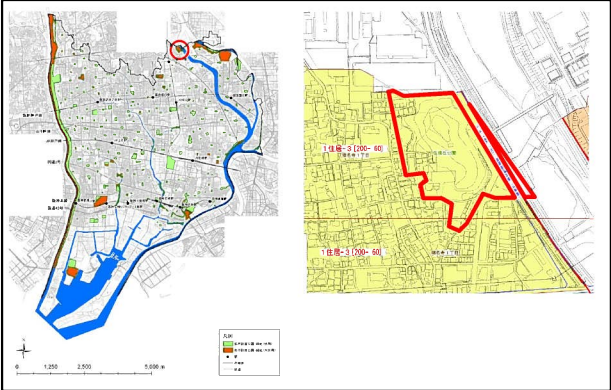
公園周辺の状況等



7. 3. 401号 佐環丘公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	風致
	最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終 3.4ha
位置	尼崎市猪名寺1丁目			
用途地域	第1種住居	土地区画整理による取得の有無	無	
上位計画における位置付け	有〔総合計画、緑の基本計画(環境保全の拠点、文化・レクの拠点、水辺の軸、沿線の軸)〕			



供用状況

供用年月日	昭和27年8月20日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.1ha	標準面積との比較	—
未供用面積	3.3ha	供用率	4.1%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	1.14ha	0.76ha	1.36ha

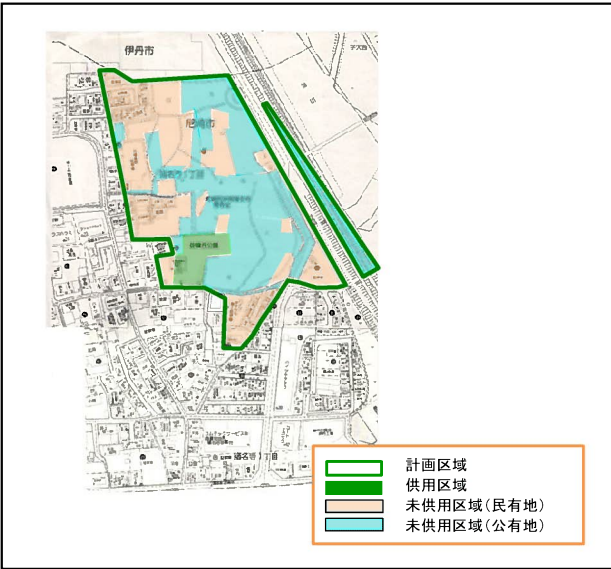
概算事業費

概算事業費	合計 3,222,023千円
内訳	用地買収費2,053,600千円、移転補償費418,623千円、工事費749,800千円
民有地の土地利用	独立住宅(26軒)、集合住宅(9軒)、駐車場(6軒)、宗教施設

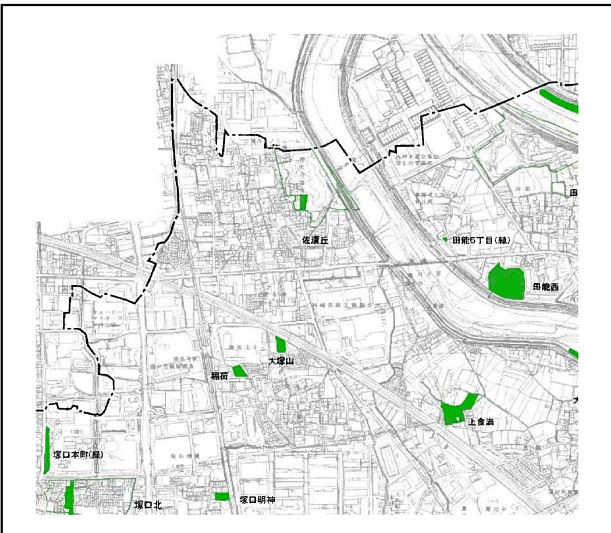
周辺状況

都市公園の充足状況	—	—
上位計画で求められている機能の代替性	無	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション 防災
周辺の代替施設	特殊公園のための代替性の検証なし	

土地利用の状況等



公園周辺の状況等

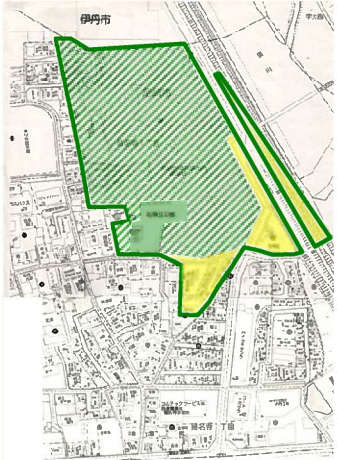


検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要

必要性	上位計画における公園としての必要性	○	上位計画に位置付けがある
	都市公園としての必要性	○	計画決定当時と変わらず必要性があり、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できている
代替性	上位計画の機能の代替	×	
	都市公園機能の代替	—	
実現性		○	未供用区域の大部分は既に市が取得あるいは借地している。また、民有地(山林)についても比較的安価で買取可能である。本市に残る貴重な自然林を風致公園として適正に保全していく必要がある。また、現在、地域による自然林の保全活動が積極的に行われている。
地域固有の要素を含めた総合的な検証		○	山林部分及び山林部分と連続する民有地は存続する。
検証結果	面積縮小(未供用の一部)		
特記事項			

計画面積	見直し前	3.40ha
	見直し後	2.9ha
	廃止面積	0.5ha



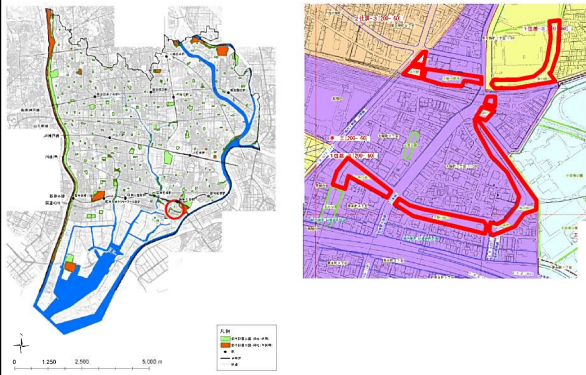
既定区域(供用区域)	既定区域(未供用区域)	廃止(候補)区域
------------	-------------	----------



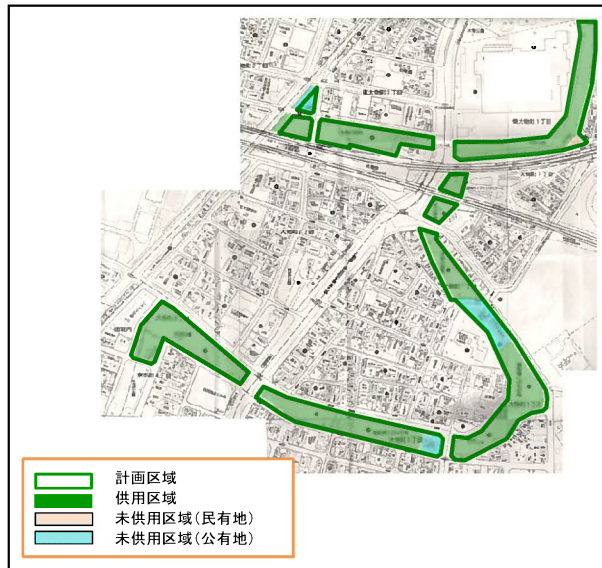
## 大物川緑地

### 公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和54年12月21日	公園種別	緑道
	最終	昭和58年1月25日	計画面積 最終	3.1ha
位置	尼崎市東大物町1丁目他			
用途地域	準工業	土地区画整理による取得の有無	有(戦災復興)	
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(沿線の軸)】			



### 土地利用の状況等



- 計画区域
- 供用区域
- 未供用区域(民有地)
- 未供用区域(公有地)

### 検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画における必要性	○	上位計画に位置付けがある
	都市公園としての必要性	○	計画決定当時と変わらず必要があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できていない
代替性	上位計画の機能の代替	○	供用部分のみでその機能が十分発揮できている
	都市公園機能の代替	-	
実現性		△	未供用区域は民有地及び市有地(普通財産貸付用地)であり、市有地部分は整備が見込める
地域固有の要素を含めた総合的な検証		○	避難路としての緑地の連続性を担保する必要がある。整備の実現性の低い民有地及び道路部分は廃止する。
		○	
検証結果	面積縮小(未供用の一部)		
特記事項	未供用区域の公園用地は、平成27年度まで供用しており、交番として占有されていたが、交番の建替えに伴い廃止し、代替地として、一体的な緑地となるよう当該用地南側の用地を供用することとした。廃止区域を廃止しても緑地の連続性は保たれる。		
計画面積	見直し前	3.1ha	
	見直し後	3.0ha	
	廃止面積	0.1ha	

### 供用状況

供用年月日	昭和58年10月8日	供用状況	一部未供用
供用面積	2.4ha	標準面積との比較	-
未供用面積	0.7ha	供用率	77.4%
未供用面積の内訳 <small>※ 未供用面積合計との相違(0.03ha)は、大物公園としての供用面積分</small>	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	0.02ha	0.26ha	

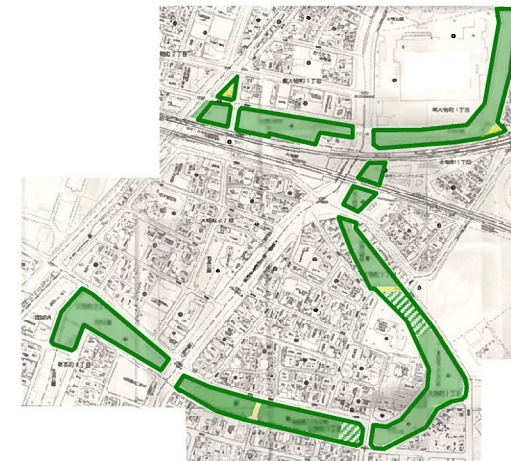
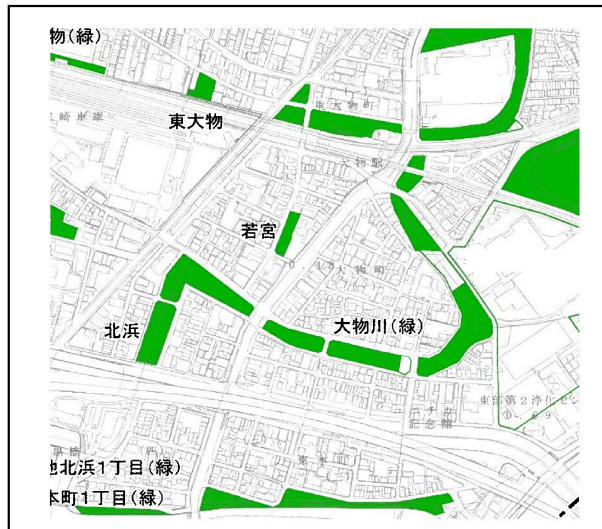
### 概算事業費

概算事業費	合計	497,266千円
	内訳	用地買収費48,300千円、移転補償費195,966千円、工事費253,000千円
民有地の土地利用	業務施設(2軒)、商業・業務兼用住宅	

### 周辺状況

都市公園の充足状況	-	-
上位計画で求められている機能の代替性	有(大物川緑地の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション 防災
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし	

### 公園周辺の状況等

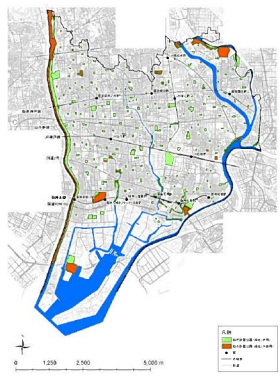


- 既決定区域(供用区域)
- 既決定区域(未供用区域)
- 廃止(候補)区域

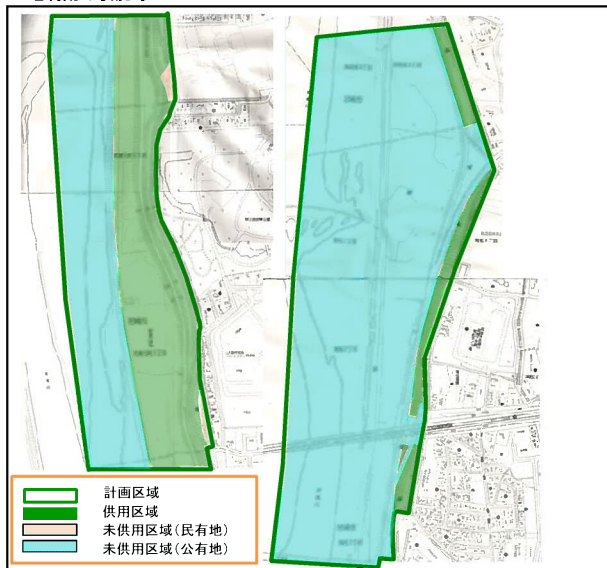
武庫川河川敷緑地

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和56年6月9日	公園種別	都市緑地
	最終 平成12年10月10日	計画面積	最終 136.4ha
位置	尼崎市平左衛門町他		
用途地域		土地区画整理による取得の有無	無
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(水辺の軸など)、地域防災計画(大火災避難場所)		



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和60年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	45.0ha	標準面積との比較	—
未供用面積	91.4ha	供用率	33.0%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	—	91.22ha	0.18ha

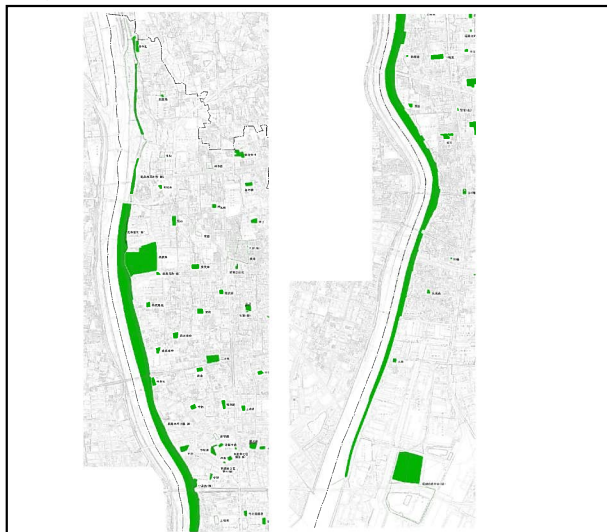
概算事業費

概算事業費	合計 1,893,615千円
内訳	用地買収費261,000千円、移転補償費160,615千円、工事費1,472,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(7軒)、集合住宅、倉庫

周辺状況

都市公園の充足状況	—	—
上位計画で求められている機能の代替性	有(武庫川河川敷緑地の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション 防災
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし	

公園周辺の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要

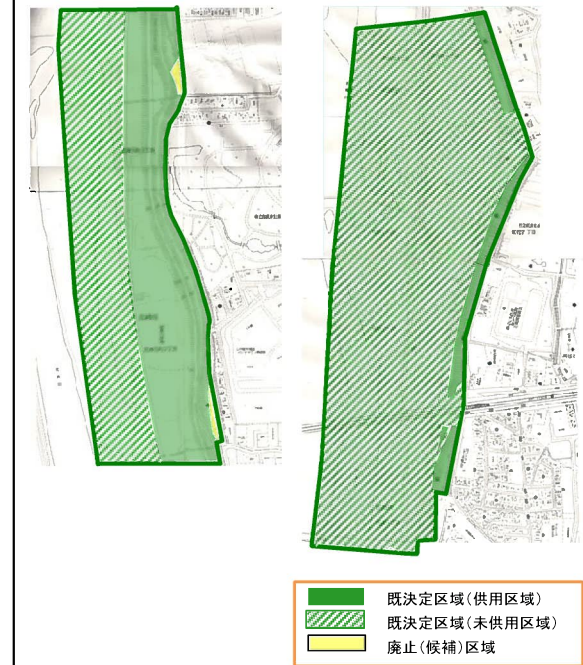
必要性	上位計画における必要性 都市公園としての必要性	○ 上位計画に位置付けがある ○ 計画決定当時と変わらず必要性があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できていない
代替性	上位計画の機能の代替 都市公園機能の代替	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている —
実現性		△ 未供用区域は民有地及び河川区域であり、一部高水敷部分の整備は見込める
地域固有の要素を含めた総合的な検証		○ 未供用区域の水面(低水路部分)は、現状においても修景的な要素(自然的環境)を備えている。 ○ 緑地の連続性を担保する必要がある。 水面及び高水敷部分を存続し、民有地は廃止する。

検証結果 一部廃止候補

廃止区域を廃止しても緑地の連続性は保たれる。

特記事項

計画面積	見直し前	136.4ha
	見直し後	136.2ha
	廃止面積	0.2ha

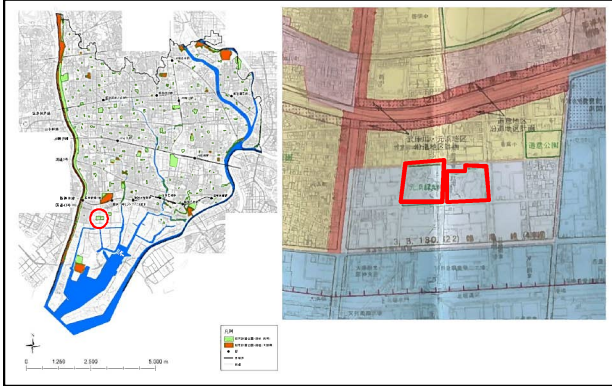




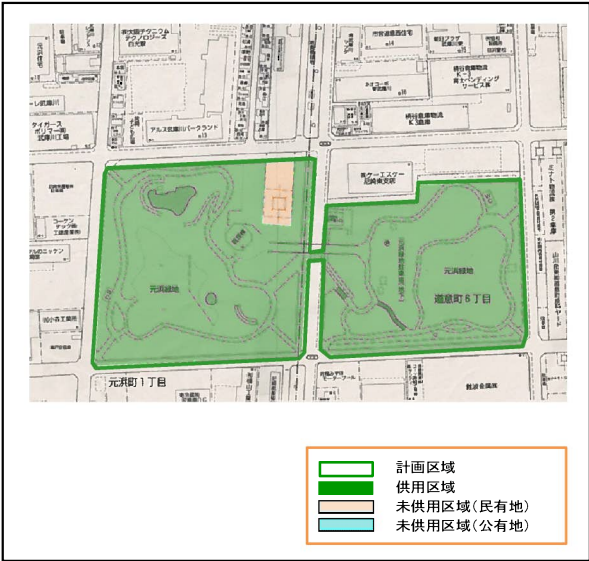
元浜緑地

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和63年10月21日	公園種別		都市緑地
	最終	平成7年8月7日	計画面積	最終	3.8ha
位置	尼崎市元浜町1丁目				
用途地域	工業	土地区画整理による取得の有無		無	
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(環境保全の拠点、文化・レクの拠点)、地域防災計画(大火災避難場所)】				



土地利用の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画における必要性	○	上位計画に位置付けがある
	都市公園としての必要性	○	計画決定当時と変わらず必要性があり、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できていない
代替性	上位計画の機能の代替	○	供用部分のみでその機能が十分発揮できている
	都市公園機能の代替	-	
実現性		△	未供用区域は全域民有地であるが、関西電力株の鉄塔敷であり、電力需要の動向等により整備できる可能性がある
地域固有の要素を含めた総合的な検証		○	大気汚染対策緑地として整備された経緯に加え、尼崎21世紀の森構想の区域内に位置しており、本市臨海部の環境創造のための極めて重要な緑であることから、整備を進める必要がある。
検証結果	存続		
特記事項			
計画面積	見直し前	3.8ha	
	見直し後	3.8ha	
	廃止面積	0.0ha	

供用状況

供用年月日	平成3年7月15日	供用状況	一部未供用
供用面積	3.7ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.1ha	供用率	97.4%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
	公園用地	その他	
	-	-	0.10ha

概算事業費

概算事業費	合計	146,000千円
	内訳	用地買収費123,000千円、工事費23,000千円
民有地の土地利用	鉄塔	

周辺状況

都市公園の充足状況	-	-
上位計画で求められている機能の代替性	有(元浜緑地の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
	-	防災
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし	

公園周辺の状況等

